

## J-クレジット活用事業者インタビュー

柏崎市のJ-クレジットをご購入された経緯などについて、営業課長阿部様からお話を伺いました

### 株式会社宮田才吉商店

#### ——宮田才吉商店様の業務を教えてください

主に資源回収事業を行っています。紙・鉄といった再生資源の回収、加工処理を行い販売しています。

昨年から、ご家庭の新聞・雑誌・ダンボールを持ち込んでいただるとTポイントが貯まる様になり、より気軽に資源物回収に取り組んで頂けるようになりました。



ダンボールや雑誌など分別して集めます



圧縮機を通して塊にして出荷します  
1つの塊は1トン以上！

#### ——社内で取り組んでいる環境活動を教えてください

ISO14001に取り組み、CO<sub>2</sub>の削減を行っています。他にも第四銀行の「だいし環境格付」AAA取得や、新潟県環境会議の優良エコ事業所にも認定されました。

職場では、年間目標として、①CO<sub>2</sub>削減のため、消費電力の削減と燃料消費の削減。②廃棄物のリサイクル率向上に取り組んでいます。リサイクル率向上はCO<sub>2</sub>発生の削減にも連動します。事業を通じて環境問題に貢献したいと願って事業活動を行っています。



①古紙ヤードの看板が目印です

②資源物をTポイントに交換してくれる計量所

③古紙を計量してくれる機械

#### ——宮田才吉商店様で取り組まれた第一中学校とのカーボン・オフセットについて、行った経緯やメリットなどについてお聞かせください

宮田才吉商店の代表者が環境活動に熱心であり、地元の環境活動に貢献したいという思いから、第一中学校に提案させていただきました。

第一中学校の資源回収時に車両から発生するCO<sub>2</sub>と、リサイクルするための工程から発生するCO<sub>2</sub>を柏崎市のJ-クレジット(二酸化炭素排出権)を購入し無効化します。



お話を聞きした阿部様

これまで新潟県の「トキの森クレジット」を購入してカーボン・オフセットを実施していましたが、この度、柏崎市にもJ-クレジットがあるということを知り、こちらを選びました。

購入量は10トンと少ないですが、この取り組みを通して、中学校の生徒への環境教育の一環にもなれば嬉しいです。自分たちが毎日何気なく出しているゴミが、分別回収して資源物になり、また循環していくサイクルに興味を持ってもらえたならと思っています。

環境活動に力を入れることは、利益追求と相反する部分もあります。しかしながら、地域の事業者として、地域の環境を守るという思いからもこうした活動を続けています。

#### ——J-クレジットの仕組みを難しく感じる事業者の方もいるようです。申請にあたり大変だったことはありますか

J-クレジットの取得は難しくありませんでした。わからないところがあれば市役所環境政策課の担当者の方が教えてくれました。地域の企業として、環境への配慮を行うことは今後の社会でもどんどん必要となる分野です。ISO14001を取得している事業者や環境に力を入れている事業者の方にも、カーボン・オフセットはお勧めです。

#### ——取材へのご協力ありがとうございました！